

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R5-9号)

令和5年8月17日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和5年8月17日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

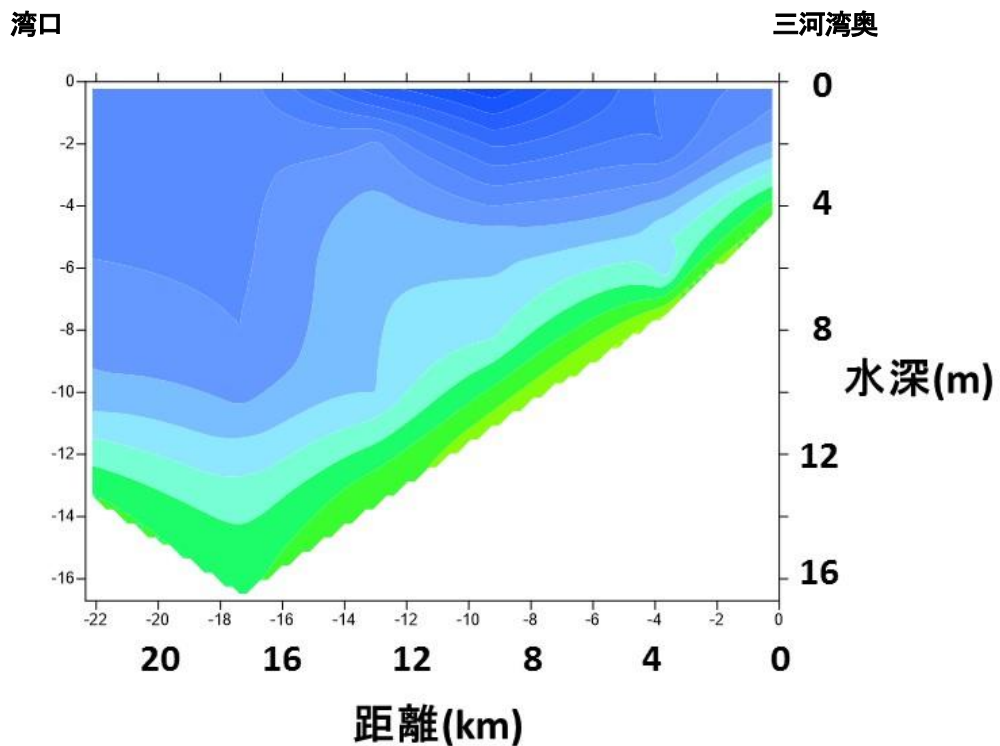
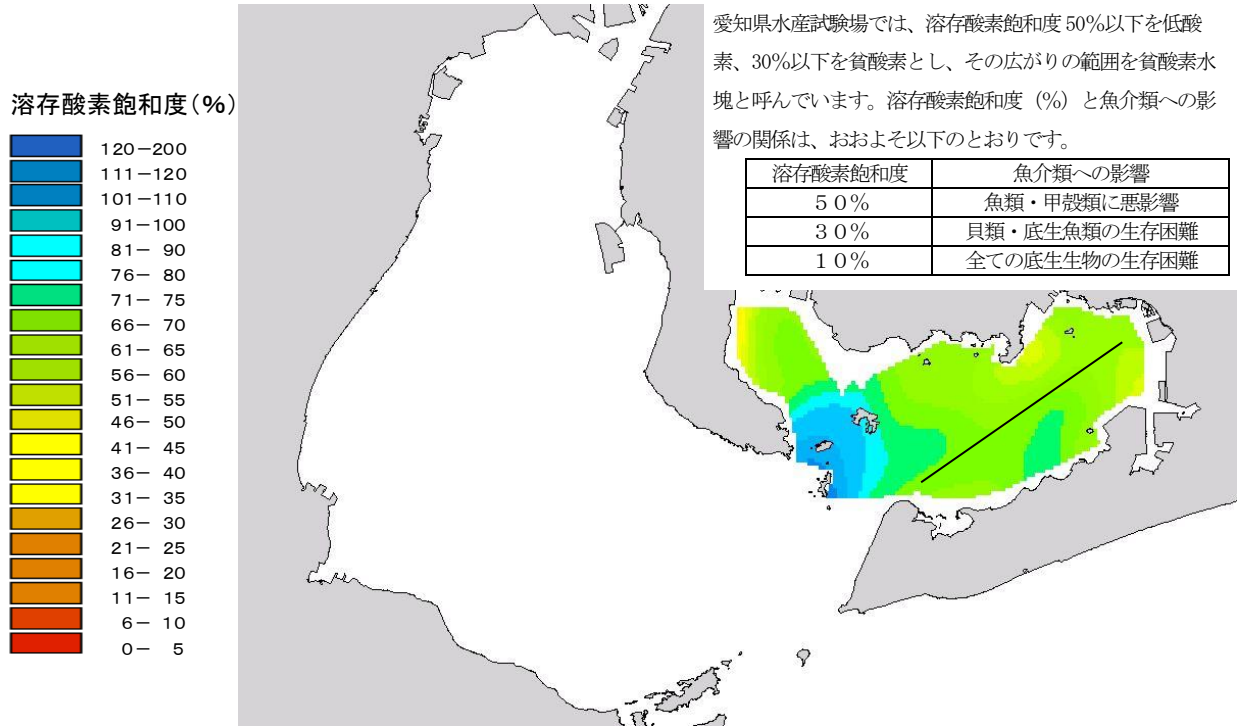


図1 三河湾 (8月17日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

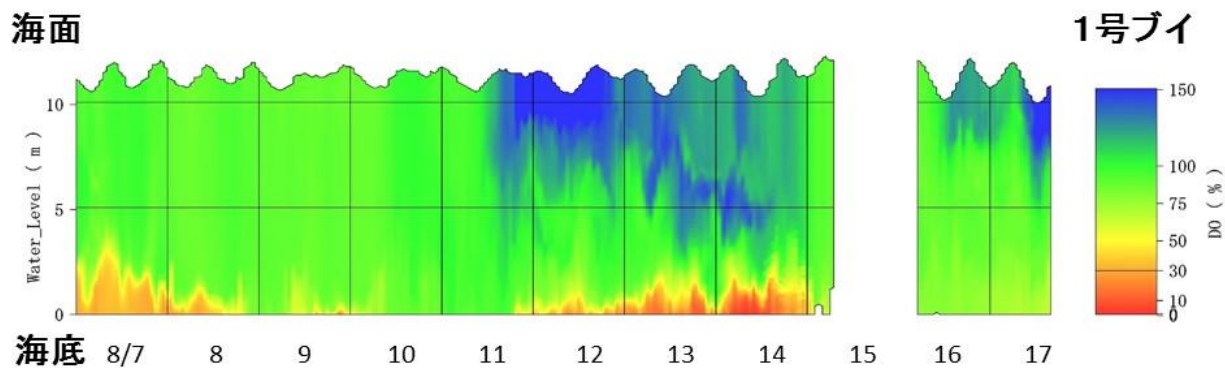
8月17日の調査結果を図1に示しました。貧酸素水塊は確認されませんでした。

三河湾海況自動観測ブイ（1号ブイ・蒲郡沖）のデータを見ると、台風6号・7号に伴う強風の影響により、海水が鉛直混合し、貧酸素水塊が解消したと考えられます。

今後は、再び密度躍層が発達し、貧酸素水塊が形成されていくと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.5~29.1	14.3~31.0
底層	25.4~28.4	27.5~32.0



風向風速ベクトル（大きさ：m/s、Nが上方向、矢印が吹いていく方向）

図2 溶存酸素飽和度（DO）、風向風速の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ 1号ブイ）

参考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

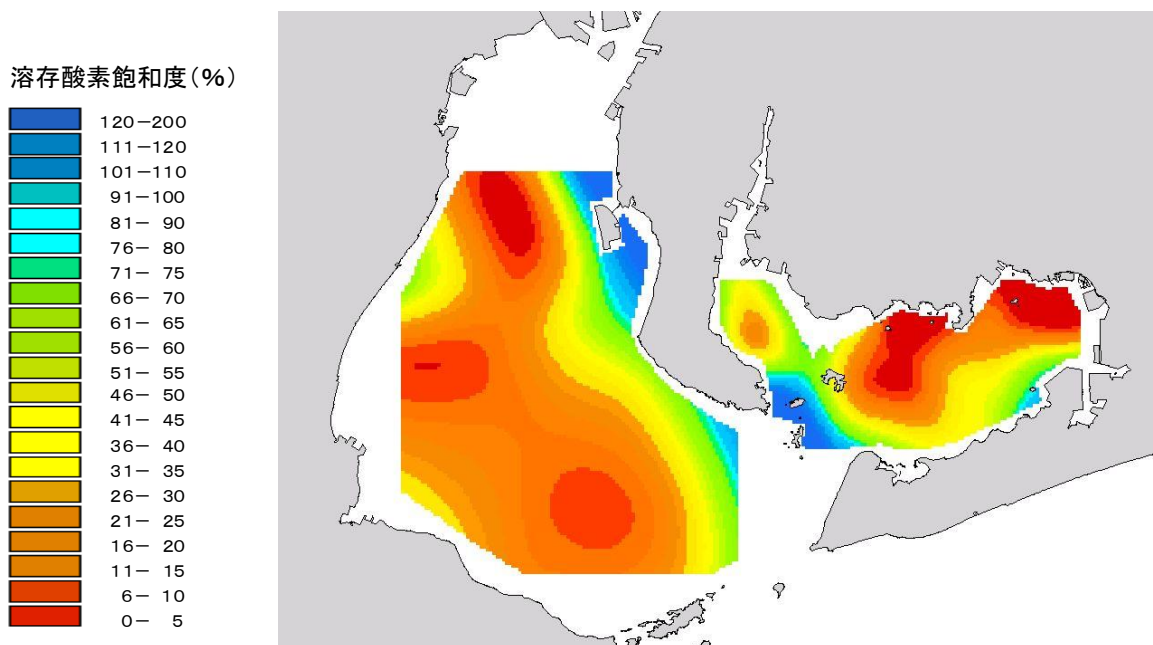


図3 令和5年8月2、3日（伊勢湾、三河湾）